

平成27年産飼料作物の収穫量 (牧草、青刈りとうもろこし及びソルゴー) — 全国の牧草の収穫量は、前年産に比べ4%増加 —

【調査結果の概要】

1 牧草

全国の牧草の収穫量は2,609万2,000 tで、前年産に比べ89万9,000 t (4%) 増加した。これは、作付面積が前年産並みであったものの、10 a 当たり収量が前年産を上回ったためである。

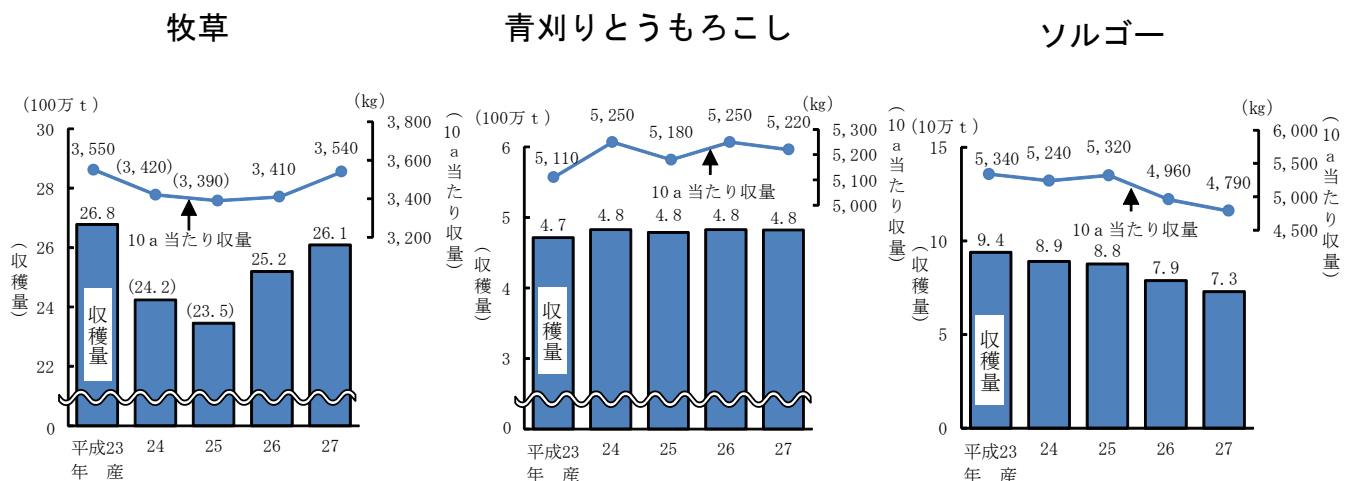
2 青刈りとうもろこし

全国の青刈りとうもろこしの収穫量は482万3,000 tで、前年産並みであった。

3 ソルゴー

全国のソルゴーの収穫量は72万8,600 tで、前年産に比べ5万9,300 t (8%) 減少した。これは、作付面積が前年産に比べ減少したことに加え、10 a 当たり収量が前年産を下回ったためである。

図1 飼料作物の10 a 当たり収量及び収穫量の推移



注：()内の数値は主産県の値である。

○ 本調査は主産県調査であり、3年周期で全国調査を実施し、平成23年産及び平成26年産については全国調査である。

また、主産県調査年の全国の収穫量は調査結果から推計している。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料
- ・ 飼料需給安定法（昭和27年法律第356号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）のための資料
- ・ 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律（昭和29年法律第182号）に基づく生産振興方針の策定等（草地の造成、改良及び保全、飼料作物の作付けその他飼料の自給率向上のための措置）のための資料

◎ 累年データ

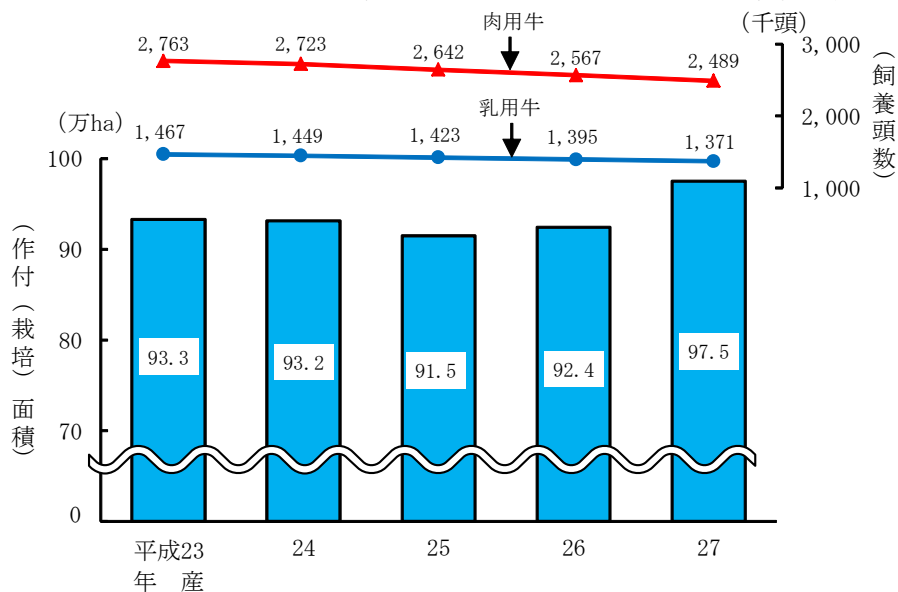
飼料作物の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量の推移

区分	牧 草			青 刈 り と う も ろ こ し			ソ ル ゴ ー		
	作付(栽培)面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量
	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成18年産	777,000	3,750	29,128,000	84,400	5,080	4,290,000	19,100	5,880	1,124,000
19	773,300	3,730	28,805,000	86,100	5,270	4,541,000	19,000	6,080	1,155,000
20	769,000	3,750	28,805,000	90,800	5,430	4,933,000	18,800	6,120	1,150,000
21	764,100	3,630	27,726,000	92,300	5,030	4,645,000	18,700	5,840	1,092,000
22	759,100	3,630	27,580,000	92,200	5,040	4,643,000	17,900	5,590	1,001,000
23	755,100	3,550	26,783,000	92,200	5,110	4,713,000	17,600	5,340	939,200
24	750,800	(3,420)	(24,243,000)	92,000	5,250	4,826,000	17,000	5,240	890,700
25	745,500	(3,390)	(23,454,000)	92,500	5,180	4,787,000	16,500	5,320	877,000
26	739,600	3,410	25,193,000	91,900	5,250	4,825,000	15,900	4,960	787,900
27(概数)	737,600	3,540	26,092,000	92,400	5,220	4,823,000	15,200	4,790	728,600

資料：農林水産省統計部『作物統計』
注：（ ）内の数値は主産県の値である。

◎ 関連データ

飼料作物の作付（栽培）面積と乳用牛及び肉用牛の飼養頭数の推移



資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』及び『畜産統計』
注：1 飼料作物の作付（栽培）面積は、牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー及びその他の飼料作物の計である。
2 乳用牛及び肉用牛の飼養頭数については、当該年の2月1日現在調査による。

【調査結果】

1 牧草（統計表6ページ参照）

(1) 作付（栽培）面積

全国の牧草の作付（栽培）面積は73万7,600haで、前年産並みであった。

(2) 10a当たり収量

全国の牧草の10a当たり収量は3,540kgで、前年産に比べ4%上回った。

これは、九州地域において低温、日照不足等の影響により生育が抑制されたものの、北海道等においておおむね天候に恵まれ生育が順調であったこと等による。

(3) 収穫量

全国の牧草の収穫量は2,609万2,000tで、前年産に比べ89万9,000t（4%）増加した。

これは、作付面積が前年産並みであったものの、10a当たり収量が前年産を上回ったためである。

図2 平成27年産牧草の都道府県別収穫量及び割合（全国）

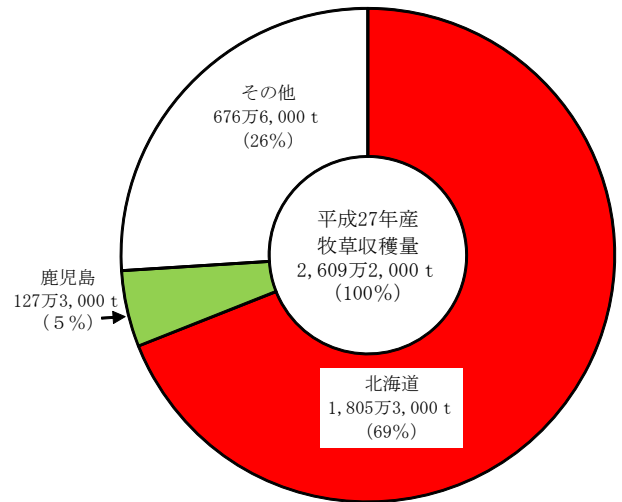


表1 平成27年産牧草の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付(栽培)面積 ha	10a 当たり 収量 kg	収穫量 t	前年産との比較						(参考)	
				作付(栽培)面積		10a 当たり 収量	収穫量		10a 当たり 平均収量 対比	10a 当たり 平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比			
全 国	737,600	3,540	26,092,000	△ 2,000	100	104	899,000	104	99	3,560	
うち 北海道	540,500	3,340	18,053,000	△ 1,000	100	104	617,000	104	102	3,290	

注：「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である（以下の各統計表において同じ）。

2 青刈りとうもろこし（統計表6 ページ参照）

(1) 作付面積

全国の青刈りとうもろこしの作付面積は9万2,400haで、前年産に比べ500ha（1%）増加した。

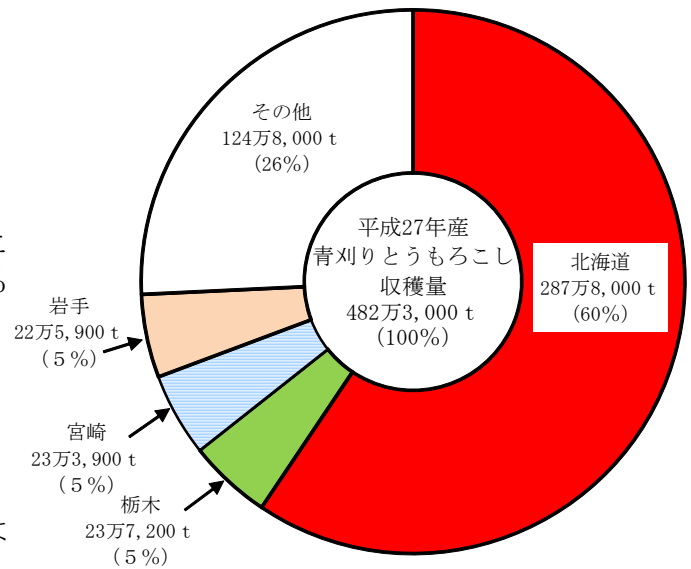
(2) 10a 当たり収量

全国の青刈りとうもろこしの10a 当たり収量は5,220kgで、前年産に比べ1% 下回った。

(3) 収穫量

全国の青刈りとうもろこしの収穫量は482万3,000 t で、前年産並みであった。

図3 平成27年産青刈りとうもろこしの都道府県別収穫量及び割合（全国）



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

表2 平成27年産青刈りとうもろこしの作付面積、10a 当たり収量及び収穫量

区 分	作付面積	10 a 当たり収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当たり収量	収 穫 量		10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
全 国	92,400	5,220	4,823,000	500	101	99	△ 2,000	100	nc	…	
う ち 北 海 道	51,300	5,610	2,878,000	1,300	103	99	38,000	101	103	5,430	

3 ソルゴー（統計表7ページ参照）

(1) 作付面積

全国のソルゴーの作付面積は1万5,200haで、前年産に比べ700ha（4%）減少した。これは、他作物への転換等により減少したためである。

(2) 10a当たり収量

全国のソルゴーの10a当たり収量は4,790kgで、前年産に比べ3%下回った。これは、主に九州地域において、低温、日照不足等の影響により生育が抑制されたためである。

(3) 収穫量

全国のソルゴーの収穫量は72万8,600tで、前年産に比べ5万9,300t（8%）減少した。これは、作付面積が前年産に比べ減少したことに加え、10a当たり収量が前年産を下回ったためである。

図4 平成27年産ソルゴーの都道府県別収穫量及び割合（全国）

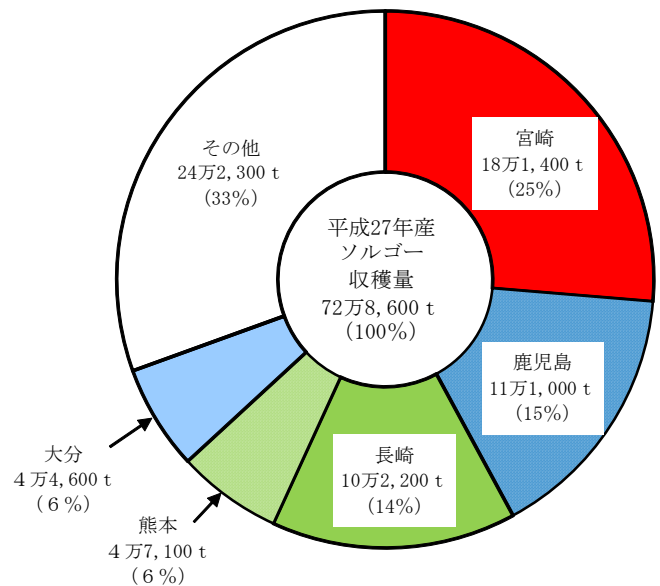


表3 平成27年産ソルゴーの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区 分	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当 たり 収 量		収 穫 量		10 a 当 たり 平 均 収 量 対 比	10 a 当 たり 平 均 収 量
				対 差	対 比	対 比	対 比	対 差	対 比		
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
全 国	15,200	4,790	728,600	△ 700	96	97	△ 59,300	92	88	5,460	

【統計表】

1 平成27年産牧草の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付(栽培)面積 ha	10a当たり収量 kg	収穫量 t	前年産との比較						(参考)	
				作付(栽培)面積		10a当たり収量	収穫量		10a当たり平均収量対	10a当たり平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比			
全 国	737,600	3,540	26,092,000	△ 2,000	100	104	899,000	104	99	3,560	
北 海 道	540,500	3,340	18,053,000	△ 1,000	100	104	617,000	104	102	3,290	
青 森	19,600	2,760	541,000	△ 200	99	98	△ 15,400	97	95	2,920	
岩 手	37,000	2,860	1,058,000	△ 200	99	123	195,000	123	97	2,950	
茨 城	1,720	4,820	82,900	40	102	101	2,800	103	101	4,750	
栃 木	6,940	4,180	290,100	70	101	101	5,000	102	97	4,310	
群 馬	3,180	5,440	173,000	△ 50	98	107	8,300	105	104	5,230	
千 葉	1,150	3,960	45,500	80	107	88	△ 2,900	94	86	4,580	
岐 阜	2,730	3,120	85,200	△ 10	100	116	11,800	116	85	3,680	
愛 知	872	4,600	40,100	△ 30	97	99	△ 1,800	96	104	4,440	
兵 庫	958	3,850	36,900	△ 32	97	97	△ 2,500	94	78	4,950	
鳥 取	2,250	3,280	73,800	100	105	100	3,100	104	102	3,210	
島 根	1,430	3,670	52,500	0	100	135	13,700	135	115	3,200	
山 口	1,280	2,900	37,100	10	101	100	100	100	84	3,450	
佐 賀	1,040	3,430	35,700	58	106	87	△ 2,900	92	70	4,890	
長 崎	5,610	4,480	251,300	△ 30	99	94	△ 18,900	93	86	5,200	
熊 本	14,300	3,960	566,300	△ 100	99	95	△ 35,600	94	101	3,930	
大 分	5,150	3,970	204,500	60	101	98	△ 1,600	99	86	4,600	
宮 崎	16,100	6,150	990,200	400	103	102	40,300	104	100	6,140	
鹿 児 島	19,000	6,700	1,273,000	△ 600	97	99	△ 50,000	96	95	7,060	
沖 縄	5,680	10,800	613,400	50	101	116	90,400	117	99	10,900	

- 注：1 全国の収穫量については、主産県の調査結果から推計したものである（以下の各統計表において同じ。）。
- 2 「(参考) 10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である（以下の各統計表において同じ。）。
- 3 全国の10a当たり平均収量は、各都道府県の10a当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を積み上げ、当年産の全国の作付面積で除して算出している。
ただし、全ての都道府県の10a当たり平均収量がそろわない場合は作成しない（以下の各統計表において同じ。）。

2 平成27年産青刈りとうもろこしの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積 ha	10a当たり収量 kg	収穫量 t	前年産との比較						(参考)	
				作付面積		10a当たり収量	収穫量		10a当たり平均収量対	10a当たり平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比			
全 国	92,400	5,220	4,823,000	500	101	99	△ 2,000	100	nc	...	
北 海 道	51,300	5,610	2,878,000	1,300	103	99	38,000	101	103	5,430	
青 森	2,000	4,240	84,800	△ 10	100	94	△ 5,900	93	93	4,560	
岩 手	5,230	4,320	225,900	△ 20	100	97	△ 8,300	96	97	4,450	
茨 城	2,470	5,380	132,900	20	101	96	△ 3,800	97	99	5,460	
栃 木	4,500	5,270	237,200	80	102	110	25,500	112	100	5,280	
群 馬	2,910	6,010	174,900	△ 30	99	105	7,000	104	103	5,820	
千 葉	1,010	5,600	56,600	△ 30	97	96	△ 4,300	93	97	5,780	
岐 阜	246	3,970	9,770	△ 2	99	102	120	101	91	4,340	
愛 知	187	4,200	7,850	1	101	98	△ 110	99	92	4,580	
兵 庫	158	3,070	4,850	5	103	86	△ 580	89	68	4,540	
鳥 取	904	4,340	39,200	0	100	91	△ 3,900	91	104	4,180	
島 根	71	3,780	2,680	△ 3	96	107	70	103	99	3,830	
山 口	10	2,540	254	△ 3	77	102	△ 68	79	64	3,960	
佐 賀	15	3,400	510	3	125	95	80	119	85	4,020	
長 崎	671	4,200	28,200	△ 18	97	91	△ 3,700	88	87	4,840	
熊 本	3,720	4,150	154,400	△ 180	95	98	△ 11,400	93	90	4,600	
大 分	826	3,920	32,400	△ 5	99	97	△ 1,200	96	82	4,770	
宮 崎	5,040	4,640	233,900	△ 300	94	103	△ 6,400	97	92	5,070	
鹿 児 島	2,310	4,950	114,300	△ 80	97	96	△ 9,300	92	88	5,610	
沖 縄	2	5,850	117	1	200	89	51	177	106	5,500	

3 平成27年産ソルゴの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積	10a当たり 収量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作 付 面 積		10 a 当 た り 収 量	収 穫 量		10a 当たり 平均収量 対	10a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
全 国	15,200	4,790	728,600	△ 700	96	97	△ 59,300	92	88	5,460	
北 海 道	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
青 森	-	-	-	-	nc	nc	-	nc	nc	-	
岩 手	11	3,260	359	3	138	82	40	113	97	3,370	
茨 城	455	4,930	22,400	△ 37	92	98	△ 2,400	90	96	5,130	
栃 木	307	4,450	13,700	1	100	107	900	107	98	4,550	
群 馬	91	4,560	4,150	7	108	96	150	104	86	5,300	
千 葉	504	6,120	30,800	△ 16	97	99	△ 1,500	95	92	6,680	
岐 阜	48	4,190	2,010	△ 1	98	127	390	124	110	3,820	
愛 知	416	4,350	18,100	4	101	101	300	102	104	4,200	
兵 庫	794	3,050	24,200	△ 149	84	72	△ 16,000	60	59	5,160	
鳥 取	322	3,220	10,400	0	100	110	1,000	111	97	3,330	
島 根	200	3,230	6,460	△ 15	93	106	△ 120	98	89	3,640	
山 口	462	2,720	12,600	14	103	101	500	104	79	3,460	
佐 賀	364	3,280	11,900	△ 9	98	90	△ 1,600	88	72	4,550	
長 崎	2,130	4,800	102,200	30	101	94	△ 4,700	96	89	5,380	
熊 本	965	4,880	47,100	△ 105	90	96	△ 7,500	86	84	5,790	
大 分	912	4,890	44,600	△ 29	97	97	△ 2,600	94	88	5,560	
宮 崎	3,280	5,530	181,400	△ 110	97	101	△ 4,700	97	95	5,840	
鹿 児 島	1,840	6,030	111,000	△ 150	92	96	△ 14,000	89	86	6,990	
沖 縄	30	4,900	1,470	△ 8	79	91	△ 580	72	78	6,300	

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の収穫量調査として実施したものであり、飼料作物の生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証、飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進、飼料需給安定法（昭和27年法律第356号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）、酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律（昭和29年法律第182号）に基づく生産振興方針の策定等（草地の造成、改良及び保全、飼料作物の作付けその他飼料の自給率向上のための措置）のための資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

主産県（3年ごとに全国調査を実施し、直近の全国調査年（平成26年産）の作付（栽培）面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県又は農業競争力強化基盤整備事業のうち飼料作物に係るものを実施する都道府県）を対象に調査を実施している。

なお、作付（栽培）面積については、毎年全国を対象に調査を行っている。

(2) 調査対象の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象作物を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2010年世界農林業センサスにおいて、調査対象作物を販売目的で作付けした農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、設定した面積規模別の標本数に応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）をした。

(3) 調査対象数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 経営体数 ④	標本数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
飼料作物	団体 25	団体 23	% 92.0	経営体 58,675	経営体 4,882	% 8.3	経営体 2,266	% 46.4

注：有効回収数とは、集計に用いた標本経営体及び関係団体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まれていない。

3 調査事項

作付（栽培）面積、10 a 当たり収量及び収穫量

4 調査期日

収穫期

5 調査・集計方法

関係団体に対する往復郵送調査結果又はオンライン調査結果及び標本経営体に対する往復郵送調査結果により算出した10 a 当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに作付面積を乗じて算出している。

なお、調査結果により算出した10 a 当たり収量については、調査対象作物について、関係団体を取り扱う数量の割合がおおむね8割以上の場合は関係団体調査結果（標本経営体に対する往復郵送調査結果による自家消費等の量を勘案したもの）を、おおむね8割未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

6 全国値の推計方法

収穫量の全国値は、以下の式により算出した主産県以外の各都道府県の収穫量を合計した値と主産県の収穫量との和である。

$$\begin{array}{l} \text{主産県以外の} \\ \text{各都道府県の} \\ \text{収穫量} \end{array} = \begin{array}{l} \text{全国調査を行った} \\ \text{平成26年産における当該都道府県の} \\ \text{10 a 当たり収量} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{10 a 当たり収量} \\ \text{の比率(x)} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{当該都道府県の} \\ \text{当該年産の} \\ \text{作付面積} \end{array}$$

注： $x = \text{当該年産における主産県の10 a 当たり収量} \div \text{全国調査を行った平成26年産における主産県の10 a 当たり収量}$

7 目標精度

本調査は、全数調査である関係団体調査結果及び標本経営体調査結果を用いて統計値を算出していることから、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

- (1) 「作付面積」とは、は種又は植付けしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。
- (2) 「栽培面積」とは、は種又は植付けの後、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物を栽培している面積をいう。
- (3) 「収穫量」とは、収穫し、収納（保存又は販売できる状態にして収納舎等に入れることをいう。）がされた一定の基準（品質・規格）以上のものの量をいう。
- (4) 「10 a 当たり収量」とは、実際に収穫された10 a 当たりの収穫量をいう。
- (5) 「10 a 当たり平均収量」とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。
- (6) 「10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量に対する10 a 当たり収量の比率をいう。

9 統計表の見方

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- (2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。
 - 「0」：単位に満たないもの（例0.4ha→0 ha）
 - 「－」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
 - 「nc」：計算不能

10 利用上の注意

作物統計調査では、は種又は植付けをしてからおおむね1年以内に収穫され複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積を「作付面積」、は種又は植付けの後、数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物を栽培している面積を「栽培面積」と区分していることから、これら両者を含む牧草については「作付（栽培）面積」とした。

牧草では、イタリアンライグラスなどが非永年性作物であり、オーチャードグラスなどが永年性作物である。

11 その他

この資料の数値は概数値である。確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成28年6月予定）するとともに、その後刊行する『平成27年産作物統計』に掲載する。

なお、作付面積に係る数値は確定値であり、詳細な数値はホームページに掲載（平成28年2月26日公表）されている。

また、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「畜産」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ
<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644